

磐城新聞

（刊夕日四十） 休刊 第一... 定價 每份... 廣告料...

北國の旅から

大泊にて 默 鐘 生

四日午後六時過ぎ大泊に... 文化の中心行政上... 商工業の中心である樺太...

朝日の光、静かに美して... 室内にしのびこる頃...

樺太には風光絶佳な所が... 少ない然し雄大な大原野...

北國の秋は悲しく寂しい... 靜かにして空に流る雲に...

秋はさびしい... 秋はかなしい... 秋の心は唯秋風に...

旅で見る女は美しい... して人の心も美しい...

（一） 號三十四千二第

「判りました、神部殿も御... 身邊よくお氣をつけなされ... 姫は神部の身を案じると...



「その夜四つ頃神部清左工... 門は妙高寺を辭した... 「近いうちにまた遊びに来...

高橋樹太郎創作

布座八郎揮毫

松並木

(139)

「近いうちにまた遊びに来... 門は妙高寺を辭した... 「近いうちにまた遊びに来...

木之美白粉 最高級の白粉... 直草堂 萬年瓦工株式會社 小野晋平 廣瀬支店

